

2026年度私立大学図書館協会東地区部会館長会 参加者アンケート報告書

私立大学図書館協会東地区部会長校 中央大学図書館

【1】開催概要

- 【日 時】 2026年6月5日（金）10：00～12：00
- 【形 式】 オンライン開催（Zoom）
オンデマンド配信（録画映像公開期間：6月19日（金）～7月31日（金））
- 【講 演】 大学図書館長に大学図書館職員として知ってほしいこと・期待していること－研究支援・教育支援・地域貢献の機能を発揮するために－
- 【講 師】 県立長野図書館長 森 いづみ 氏、信州大学人文学部教授 渡邊 匡一 氏（ゲストスピーカー）
- 【対 象】 東地区部会加盟校館長（今年度は職員の参加可）

【2】参加者数・アンケート回答数

- 【事前申込者数】 84 名
- 【当日参加者】 74 名
- 【アンケート回答数】 43 名

（アンケート回答内訳: 館長/副館長 37名、その他 6名）

【3】アンケート集計結果

※各表における割合は、全て小数点以下第2位を四捨五入し整理しており、各表における割合の和と合計欄の数値が異なる場合あり。

1. 本日の館長会の満足度を教えてください。（必須、単一回答）

5点（とても満足した）	32	74.4%
4点	10	23.3%
3点（ふつう）	1	2.3%
2点	0	0.0%
1点（全く満足しなかった）	0	0.0%
合計	43	100.0%

2. 講演内容は参考になりましたか？（必須、単一回答）

5点（とても参考になった）	32	74.4%
4点	11	25.6%
3点（どちらともいえない）	0	0.0%
2点	0	0.0%
1点（全く参考にならなかった）	0	0.0%
合計	43	100.0%

3. 講演に対する感想をお聞かせください。（回答は任意です）

館長	大変分かりやすく良かった。
館長	図書館の課題の推移が実体験にもとづいて具体的にまとめられており、とても参考になりました。
館長	館長に対する希望をうかがえてよかったと思います。また渡邊先生の取り組み姿勢には感銘いたしました。
館長	館長として身近な話題を取り上げていただいて大変参考になりました。どうもありがとうございました。
その他	着任したばかりで、最近の図書館事情が分からない状態ですので、この35年の図書館に関わる流れを簡潔にまとめていただいたおかげで、非常に貴重なお話を伺うことができました。特に大学設置基準の変更点を知り、今後の大学図書館の在り方（メリット、デメリット）について考えていきたいと思いました。
館長	貴重なお話しと資料の共有をありがとうございます
館長	今年度から担当ですので、経緯等を含め興味深く聞かせて頂きました。 研究環境（ILLの重要度他）や学習方法の変化、さらに地域貢献への重要性など、多数の情報ありがとうございます。
館長	とても参考になりました。
館長	信大の前館長のご苦勞、そしてそれを対話で引き出すところが素晴らしいと思いました。
館長	ありがとうございました。館長に期待されていることがいまさらながらよくわかりました。本学の状況に照らし、それぞれの課題に即して務めを果たしたいと思います。
館長	この4月からの新米館長として、非常に勉強になりました。最後のILLに関する質問についても丁寧にご回答いただき、感謝しております。私自身は現在、本学初の理系学部である情報数理学部にありますが、出身は心理学なので、「文系研究者とのインターフェース役としての館長役」が求められていると認識しています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。本日は貴重なご講演・対談を誠にありがとうございました。
その他	昨年7月に銀行より転職で入職、4月より事務長になったばかりで、全くわからなかったもので、とても興味深く聞くことができました！
館長	図書館職員との意思疎通について、常に気をつけて心がけているつもりだったが、お話を伺って、まだまだだったと感じた。とても参考になりました。
その他	本日の講演を聞き、大学内における図書館の位置づけが重要だということをもっと学内へ発信していかなければいけないと思いました。
館長	お二方それぞれの立場からのお話で、職員との相互理解を更に進めていきたいと思いました。ありがとうございました。
館長	漠然とした意識が明確に言語化されて、今後の当館の具体的な課題として認識することができた。
館長	長野のMLAの取り組みについて知ることができ、大変参考になりました。
その他	身近な課題についても共有でき、かつ、解決すべき問題点も共通事項が少なくないと感じられ、今後の対応としてのスケールメリットについてヒントのある内容でした。

館長	渡邊先生のお話、とても身につまされました。ふだんから図書館をよく利用してはいても、中に入るとさっぱりわからない。館長になって最初に驚くのは、まさにこれです。
----	--

館長	具体的なお話が聞けてよかったです
館長	急激に変化する図書館業務の内容を時系列に非常にわかりやすくご説明いただき、理解が進んだ。図書館員側と館長側それぞれの意見を提示していただいたところも良かった。参加型の構成もよく考えられていると感じた。
館長	最近の図書館に求められる役割と課題について少し触れられていましたが、全体として館長としての入門編という感じで、物足りなさを感じました。
館長	森館長のお話がとてもわかりやすく、自分たちの取組みを客観化できる情報をいただきました。平賀館長時代になんとか伺ったことがあります。「信州知の連携フォーラム」の取組みは大変参考になりました。
館長	オープンアクセスポリシーと機関リポジトリの意義浸透、高騰する電子ジャーナルなど、私立大学のほとんどが同じ問題で悩んでいることを理解できた。
館長	今後、本学の図書館の運営を活発に進めて行くためのヒントが含まれていたため、大変参考になりました。
館長	実体験に基づいたものでしたので、大変説得力があり納得するとともに今後について勉強となり、ありがたく思います。
館長	変化する大学図書館であることは理解していましたが、変化について説得力に欠けている自分に限界を感じておりました。大学経営陣への訴えかけの根拠となるお話をいただき、感謝しかありません。弱小大学の図書館は単独では聴き残れないと思います。
館長	就任1年未満で職務が把握しきれていないが、図書館からの自発的な試み（特に地域貢献）を考えてみる点に興味を持ちました。資料を再度見直し、少し検討してみたいと思います。
その他	非常に充実した内容で、大変勉強になりました。ありがとうございました。 私は図書館の職員ですが、大学図書館界の流れを森さんの仕事の履歴とともに伺うことで、改めて自分が現在どういう文脈のもとで仕事をしているのか、整理して考えることができました。いまの立場になり館長とのやりとりも増えたので、心掛けるべきポイントというか、一緒にいい仕事をしていくための勘所のようなものを学ばせていただきました。 また、MLA連携と、大学史料のデジタルアーカイブの発想が共通していた（物は各所で管理し、デジタルで共有する）という点、非常に興味深かったです。寺社でのワークショップが効果的だったというお話も、整理される以前の資料を知ってもらうことの大切さが伝わってきました。当館も昨年から博物館学系の教員と連携して資料保存のワークショップをやっている、気づきが多くありました。
館長	図書館長になったばかりで、自分の大学の図書館について、まだほとんど知識がない状態ではあるものの、図書館の機能が旧式で改革が必要なのではないかと感じ参加させていただきました。お話を聴いて、思った通りあまりに遅れた機能であることは確信したものの、小さな本学でできることは限られているので、本学にあった改革はどのようなものなのかをしばらく模索できたらと思います。大変勉強になりました。ありがとうございました。
館長	ここ三十年余りの大学図書館のあり方の変遷を知ることができてよかった。

4. 講師（森館長・渡邊先生）へのご質問がありましたらご記入ください。

※別紙参照

5. 今後の館長会などで取り上げて欲しいテーマがありましたらお聞かせください。

館長	今日のお話にもありましたが、AI時代とどう向き合っていくべきか、AI時代の学生とどう向き合っていくべきか、という点について今後も定期的に取り上げていただけると良いかと思います。
館長	少子高齢化社会における大学図書館の地域貢献のあり方。
館長	地域連携に関して。図書館が研究や教育の礎となるのは当然のこととして、地域との連携で何ができるのかを具体的にご教示願いたい。一般的には所蔵資料の公開や関連する講演会などであろうが、それ以外に何が実現可能なのか。
館長	具体的なテーマとして、地域連携の取り組みについて、事例集の特集を組んでいただきたいです。また、大学図書館のみならず、全国図書館の先進事例の特集をしていただけると嬉しいです。
その他	電子ジャーナルの高騰による「研究したくても出来ない研究環境」に対する対応策について具体的な事例研究が出来ると良いと思いますし、潤沢な資金を持つ大学と、そうではない大学のギャップをどのように埋めていくのかの議論が出来ればと思います。
館長	オープンアクセスの義務化がスタートして、どうなったか。どういう課題（トラブル?）が出てきたか。「オープンアクセス化が始まるぞ」というお話は、以前にうかがう機会がありましたので、今度は始まってどうなったかをうかがいたいです。
館長	「図書館業務の外部委託の現状と課題」
館長	オープンアクセス対策、電子書籍比率の向上など
館長	私の専門の化学領域では、最近、研究成果の共有について、そのもととなる研究データの公開が研究者に義務付けられるようになりつつあります。大学図書館と機関リポジトリがデータ管理の点でどのような役割を果たすべきなのか、これからどのようにかかわっていくのかについて、理解できるような内容があれば良いと感じました。
館長	単価大学の図書館など、「小規模大学の図書館の今後の運営について」
館長	一般的ではないかもしれませんが、「図書館業務を外部企業に委託している場合の課題と改善」、ほかには、やはり「地域連携のあり方」です。
館長	SINETなどのネットワーク構築の重要性について今回も確認できましたが、ないことの問題点など（そんな大学はないのでしょうか）をお聞きたい。
館長	新任図書館長に期待されるコンピテンシーと研修
その他	外部資金の獲得に図書館が絡むテーマを取り上げていただきたいです。獲得経験を多く持つ当事者から獲得の流れについての詳細や、具体的な声を伺えると参考になると思います。よろしく願いいたします。
館長	同じような規模の大学図書館がどのように運営しているのかが気になります。そのような規模に合わせた改革の方法を議論できるような場が欲しいと思いました。

6. 今回のオンライン会議システム（Zoom）を利用したリモート開催について、
ご感想・お気づきの点がありましたらお聞かせください。

館長	本日はありがとうございました。次回も楽しみにしております。
その他	双方向のやり取りがあったのが、良かったです。
館長	今回のようなオンラインが良いですが、午前中でなくてもよいと思います（他の定例会議等がありますため）
館長	挙手や拍手がうまくできず失礼いたしました。
その他	皆さんお忙しいので、オンライン開催でよいと思います
館長	特に問題は感じません。対面開催より参加しやすいので、大変ありがたいです。
館長	物理的移動を伴わないため、授業や校務との関係でたいへんありがたかった。接続についても問題なかった。
館長	資料配布もしていただき、ありがたかったです。
館長	ご丁寧な運営ありがとうございました。
館長	オンラインでの会議は本当に大変です。私どもの館でも、一昨日オンラインで会議を行いました。が、ハウリングなどなどアクシデントつづきでした。ここまで円滑な進行をセッティングされた事務局皆さまに御礼申し上げます。
館長	特に問題はなかったかと思います。もう少し対話・交流の機会があればとは思いますが。
館長	親切なご案内でしたし回線なども問題なく、大変良かったと存じます。なお、今回、直前の事務局へのご連絡になってしまったのですが、急な用務により途中退出となり、誠に失礼いたしました。定期的にこうした会議に是非今後とも参加できればと思います。
館長	出張費もままならない状況ですので、オンライン会議はたいへんありがたかったです。特に、スピーカー（会場）全体を映すカメラの設置が良かったです。ありがとうございました。
館長	現段階では特にありません。（担当された先生方、たいへんご苦労様でした。そしてありがとうございました）
館長	時代を追って取り組まれてきたこととお話しいただいたので、とても分かりやすく、そして本学図書館の位置も想像できました。ありがとうございました。

以上